

機械学習を用いた水都大阪観光スポット判別システムの開発

キーワード: 機械学習, 位置情報, 水都大阪

研究概要

古来より、大阪は水運に支えられ「水の都」と呼ばれている。しかし、現在水の都としての姿を失いつつある。そこで、かつての姿を取り戻すための試みの1つとして、水都大阪という団体が、水上バスを運航している。

先行研究では水都の魅力を伝えるため、位置情報を用いて、水上バスから見える観光スポットの豆知識やクイズを表示する水上バスマップ生成システムを開発している。しかし、船上のみ体験できる観光地の撮影などに対応していないため、ユーザが主体的に利用する機能がない問題がある。

そこで、本研究では機械学習を用いて撮影写真から観光スポットを判別するシステムを提案する。提案システムはスポットの撮影を促し、スポットが正しく撮影できているか判定する。これにより、システムの利用を促進し、ユーザが主体的にシステムを利用することが可能となる。

